



進取

令和5年4月28日発行

阿久根市立阿久根小学校
27学級 児童数444人

光礁の波と岩とに今日ふれて 清く明るくなる心かな

校長 中村 一成

この4月に阿久根小学校に赴任し、「少しでも早く阿久根のことを知りたい。」という思いと健康（ダイエット）を兼ねて、校区内をウォーキングしているときに、戸柱公園ですばらしい景色とともに与謝野鉄幹の詩と出会いました。阿久根小学校の子どもたち一人一人が、友達と切磋琢磨しながら光り輝くよう、そして清く明るい心になるよう、職員が一丸となって、今年1年子供たちの自立に向け取り組んでまいります。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年度は86人の新入生を迎え、児童数444人、職員49人でスタートしました。創立147年を迎える阿久根小学校の素晴らしい伝統を、子供たちと職員が一体となって、また一つ積み重ねていきたいと思っております。

そのスタートとなる始業式で、子供たちに次の三つの話をしました。

あ かるく元気なあいさつをしよう
く じけず、挑戦しよう
ね ばりづよく取り組もう



「明るく元気なあいさつをしよう」

朝、交差点で立証指導をしていると、とても大きな声で気持ちの良いあいさつをしてくれる子がいます。こちらでも元気な声で返すと、とても嬉しい気持ちになります。逆に、こちらがあいさつをしても、目を合わさず下を向いて通り過ぎる子もいます。朝から家で何かあったのかなと心配な気持ちになります。あいさつは相手のことを認め、よりよい人間関係を築いていく第一歩です。ぜひ、明るく元気なあいさつを続けてほしいと思います。

「くじけず、挑戦しよう」

挑戦というと何か新しいことを始める、自分の苦手なことに取り組むことをイメージすると思いますが、「授業中に発表すること」「廊下に落ちているごみを拾うこと」「自分からあいさつをすること」など、自分で考え行動しようと一歩前に踏み出すことも挑戦です。人から言われてやるのではなく、自分から行動することが大切で、失敗してもいいです。くじけず、挑戦できる人になってほしいと思います。

「粘り強く取り組もう」

学習でも運動でも、すぐにわからなかったり、できなかつたりすることは誰にでもあります。そこであきらめず、もうひと踏ん張りできるかどうか大切です。粘り強い取組を積み重ねることで、できることが増え、自信もつき、自己肯定感も向上していきます。ぜひご家庭でも、励ましの声かけをお願いいたします。

本校の学校教育目標は「友達と支え合い、共に伸びようとする子供の育成」です。この目標を達成するためには、「家庭」「地域」のご支援・ご協力が不可欠です。新型コロナウイルス感染症の対応も少しずつ変化し、学校でも様々な状況を見ながら柔軟に対応することが求められています。こうした中、「何がどのようにできるか」ということを見極めながら、教育活動を推進していきたいと思っております。今年度も、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。